

「動物園」と聞いて思い浮かべる動物は何ですか？キリンやライオン？チンパンジーやホッキョクグマ？円山動物園には、エゾリス、北海道固有のネズミたち、タンチョウ、エゾシカなど、北海道に生きる動物たちもたくさんいます。私たちはそんな身近ないきものたちのことを知っているのでしょうか？どうしたら彼らを守り、ともに生きていけるのでしょうか。

ゼニガタアザラシ 襟裳岬、大黒島、歯舞諸島周辺の岩場(海獣舎) 北海道版レッドリスト:絶滅危急種
一年を通じて日本で暮らす唯一のアザラシです。その名のとおり、昔の硬貨のような模様があります。1970年代から80年代にかけて、毛皮や油、食肉を目的とした乱獲のため、急激に数を減らしましたが、今は増加傾向にあります。漁網を破ったり、その中の魚を食べたりしてしまったり、漁業への被害も最近では問題となっています。円山動物園には、オスのミサキとメスのジージー、そして、二頭の間に生まれた息子のまるの3頭がいます。



きみのそばに、いるよ

エゾモモンガ 北海道全域の森林(こども動物園・ドサンコの森)

飛膜をマントのように広げて飛ぶことで有名な、大きな瞳が愛らしいリス科の動物です。森と森の間に道路や農地ができると、木々の間を飛ぶ彼らは移動することができなくなります。移動ができなくなると、食べ物や、子孫を残すためのパートナーを見つけにくくなってしまいます。円山動物園には、オスのタロウとハニーの二頭が暮らしています。夜行性なので、なかなか姿をみせてくれませんが、夕方には会えることが多いです。



アオダイショウ 日本各地の山地の森林や平野部の人家など(は虫類館)

日本各地に生息するへびの中でもっとも馴染み深いアオダイショウ。北海道(特に道東)に住むものは、ひととき美しい色をしているといわれています。温和で毒もありません。見かけたときは、怖がったり、いじめたりしないでください。ちなみに幼体は青みがなく、マムシに似た模様をしています。円山動物園には2匹のアオダイショウがいます。



エゾユキウサギ 北海道全域の低山帯(こども動物園・ドサンコの森)

日本に生息するウサギのうち、最大の種です。雪の上を駆け回ることのできる大きな足を持っています。生息に適した場所が減る一方、キタキツネなどの捕食者は増えているため、数は減りつつあります。円山動物園には、子供のために保護した二頭がいます。これから耳の先以外は真っ白に毛がわりする季節を迎えます。とても臆病な動物なので、静かに観察してください。



夏毛

エゾヒグマ ほぼ北海道全域・森林、山岳地帯(世界の熊館) 北海道版レッドリスト:積丹・志摩(石狩西部)、天塩・増毛の個体群は「地域個体群」(地域レベルで見るとときに絶滅が心配されるもの)に分類される。

陸上においては日本で最大の動物です。農業被害、人身被害によって凶暴なイメージを持つ方が多いのですが、主に木の実や山菜など、植物質のものを食べて暮らしています。生息地の減少、分断によって減少傾向にあります。円山動物園には、栄子という36歳のメスが二頭います。これはヒグマとしてはかなりの高齢です。また、2010年にはエゾヒグマ館が完成します。



エゾシカ 北海道全域(エゾシカ・オオカミ舎)

ニホンジカの亜種の中で最も大きい種類です。明治の始め、乱獲(+豪雪)のために激減しました。戦後、保護施策・オオカミの絶滅などによって増え続け、農地や森林に深刻な被害が出ています。狩猟そして鹿肉の流通により頭数を抑える試みが行われています。円山動物園では6頭を飼育しています。



エゾタヌキ 北海道全域の森林、林縁部(こども動物園・ドサンコの森)

エゾタヌキはホンダタヌキよりも足や体毛が長く、淡い毛色をしています。同じイヌ科のキタキツネはよく見かけますが、臆病な性格で夜行性のエゾタヌキを見かけることは滅多にありません。北海道にはタヌキはいないって思っていた方いませんか？高い繁殖力を持ち、雑食で、様々な場所に適応することができますが、1990年代には、疥癬という皮膚病の流行でたくさんのエゾタヌキが命を落としました。円山動物園には、両親と2頭の子供たちが暮らしています。



参加者募集中 森や動物病院など、ふだんと違う視点から動物園のことをよく知ろう。

森の散策タイム

職員とボランティアが動物園内の森をご案内します。小さないきものたちとの出会いがあるかもしれません。木の実や落ち葉など、身近な秋を感じてみませんか。
開催日 土・日・祝 定員 各回20名
時間 10時～13時30分～、15時～(所用時間約一時間)
開始30分前に動物園センターで整理券を配布します。
※天候等により中止になる場合があります。また、積雪期(11月～3月下旬)は休止致します

動物病院体験プログラム

診療機器の説明や、治療の見学などができる教育プログラムです。
開催日 毎週土曜日
時間 11時～12時
対象 小学1年生～中学3年生(第4土曜は高校生以上対象)
実施日の2ヶ月前から事前申込を受け付けています。(7日前に締め切ります)お電話もしくはご来園時に動物園センターでお申込下さい。
電話 011-621-1426